

## (記入例)

令和7年度 前期/第1クォーター (←数字の記入漏れに注意)

### 全学共通授業科目 成績評価に対する申立書

		申立日	令和7年 xx 月 xx 日
所属学部	〇〇学部	学籍番号	1234567〇
氏名	神戸 太郎	TEL	XXX-XXXX-XXXX
授業科目名	1U〇〇〇・科目名 (正確に記入)	担当教員名	△△ □□ (フルネームを記入)

#### (注意事項) ★記入する前に必ず確認★

- ① 成績評価に対する申し立ては成績評価の照会や成績評価の変更を申請する制度ではありません。  
申し立てを行う科目の成績評価について、シラバスやBEEF等で示された成績評価基準に照らして、疑義を申し立てる具体的な内容及び理由をできるだけ詳しく記入してください。

#### 【悪い例】

- ・どうしても単位が必要なので、合格にしてくださいませんか。  
→成績評価の変更を申請する制度ではありません。
- ・レポートを提出し、最終試験も受験し、自分なりに頑張りました。なぜ不合格なのですか。  
→「自分なりに」としか書いておらず、具体的にどのくらいできたのか、なぜ合格だと考えられるのかが不明です。  
成績評価基準をどのくらい自分が達成できたのかを具体的に書いてください。

- ② 「成績評価基準に照らして疑義がある場合」に当てはまらない内容は記入しないこと。  
記入している場合、申立書は受理できません。

#### 【記入できない内容】

- ・個人的な事情  
例：卒業がかかっているので、救済措置をお願いします。  
→卒業や進級の可否も含め、個人的な事情に応じて成績を変えることはしません。
- ・他の履修者の成績  
例：私よりもテストができなかったと言っている友人が合格で、なぜ私は不合格なのですか。  
→あくまでも自分の取り組みについてのみ言及すること。
- ・授業/試験内容に対する個人的な意見  
例：成績は合格でしたが、授業のやり方に不満があります。  
→意見がある場合は授業振り返りアンケートを利用すること。

- ③ 虚偽の内容は書かないこと。  
事実の誤認がないか、自分の課題提出状況や出席状況、教員からの指示内容を再確認すること。

- ④ 誰が読んでも分かるように書くこと。  
この申立書は、担当教員だけでなく、全学共通授業科目を所掌する関係者が確認しますので、「担当教員であれば、これで通じる」ではなく、誰が読んでも内容が理解できるように記入してください。

↓次頁の記入例を参考に【申し立ての内容及び理由】を作成してください。

## (記入例)

### (記入例)

#### 【申し立ての内容及び理由】

第1クォーター「〇〇B」の成績が「不可」であったことに対して疑義があり、申し立てを行います。

シラバス及びBEEFでは、成績評価方法は「平常点30%、課題レポート20%、最終試験50%」、成績評価基準は「〇〇について正確に理解し、論理的に説明できるか」と示されていました。

私は授業に毎回出席し、グループワークの際は意欲的に議論に参加しました。

毎回の出席確認の小テストについては、先生の指示「〇〇の観点から記入すること」に基づいて、「・・・(出来るだけ詳しく)・・・」といったことを記入しました。

以上により、平常点は8割以上獲得できていると思います。

また、課題レポートは、授業で習った□□□と◎◎◎の考え方をもとに、「・・・(出来るだけ詳しく)・・・」といったことについて記載しました。授業の内容を踏まえて自分の考えを明確に記載したので、大きく減点されるような要素はなかったと思います。レポートの末尾には、指示通り参考文献についても明記しました。

最終試験では、大問は3問あり、(1)(2)の一问一答については、試験後に教科書を読み返してチェックしたところ、8割以上正解を書けていたと思います。また、(3)の論述問題については、授業で習った△△△を基にして、◎◎◎の考え方と自分の意見を論理的にまとめました。これにより、合格点を取れていると思います。

上記の内容により、私は成績について疑義がありますので、「不可」であった理由を教えてください。よろしく申し上げます。